

た か つ は つ
高津発

に ほ ん か い か く
日本改革!

ほりぞえ健^{けん}ニュース

2005年12月号 No.29

民主党 ほりぞえ健事務所

〒213-0033

川崎市高津区下作延266 エスビル4階

(溝の口駅徒歩2分 高津区役所隣り)

電話 044-855-1479 FAX 044-855-1489

http://www.horizoe.com

E-mail: horiken@horizoe.com

平成17年を振り返って—マニフェスト選挙と自治基本条例

川崎市議会議員 ほりぞえ健

(事務局)

本年を振り返っていかがでしたか。

(堀添)

やはり選挙が集中した1年だったと思います。7月の東京都議選、9月の総選挙、10月の川崎市長選、宮前区市議補選、参議院議員補選と、とくに後半は選挙に明け暮れていた気がします。

選挙を通じて感じたのは、マニフェストを軸とした選挙が定着してきたということです。今までのように、「どの候補者・政党に白紙委任するのか」という選挙から、「どの政策セット(マニフェスト)を選択するのか」という選挙に変わりつつあるように思います。

その上で、わたしたち民主党がどういう方向を目指しているのか、政党のあり方についても、主権者から厳しく問われた一年でした。

自民党と何が同じで、何が違うのか。同じ点は、自由と民主主義を基盤とする社会経済システムを選択していること、そして「小泉」自民党に純化してからは、「改革政党」であるという点も、「改革」の中身はともあれ、両党に共通するのかもしれない

せん。

そして違いは、まさに「改革」の中身と、改革を通じて何を実現しようとしているのか、だと思います。民主党が98年に決定した『基本理念』には、「旧来の思考と利権構造から抜け出せない旧体制を打ち破り、当面する諸課題を解決する」ために「これまで既得権益の構造から排除されてきた人々、まじめに働き税金を納めている人々、困難な状況にありながら自立をめざす人々の立場に立ちます。すなわち、「生活者」「納税者」「消費者」の立場を代表し、「透明・公平・公正なルールにもとづく社会」「経済社会においては市場原理を徹底する一方で、あらゆる人々に安心・安全を保障し、公平な機会の均等を保障」「中央集権的な政府を「市民へ・市場へ・地方へ」との視点で分権社会へ再構築」する、と謳われています。まさに、この原点に立ち返り、政策を具体的に、かつ、わかりやすく展開していくことが必要なのだと思います。

(事務局)

川崎市政についてはどうでしたか。

(堀添)

本年、全国の政令指定都市に先駆けて「自治基本条例」を施行したことが一番のトピックだと思います。すでに具体化がされてきているわけですが、たとえば区民会議についてもすでに2回の試行が行われ、来年3月には本番実施に向けた条例も制定する予定です。試行の内容に関しては様々な意見があるようですが、私としては当初予想していた以上に順調に進んでいるように感じています。行政区の業務の下請けということではなく、地域コミュニティとして抱える課題にどのように対応していくのか、様々な形で地域社会にかかわる方々が議論し、解決策を見出し、そして実行する、というサイクルが



- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブーンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 市議会まちづくり委員会副委員長
- 民主党神奈川第18区総支部副幹事長
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女(中学3年)の3人家族

うまくまわっていくように、議会としてもできる限りの支援を行っていく必要があると思います。また、住民投票条例に関しても、市民も参加しての検討委員会が立ち上がりましたので、検討結果を踏まえた制度設計がされていきます。阿部市長も2期目に入り、改革のスピードも今まで以上に上がっているように思います。一つ一つの行政課題に対し、本当に必要なのか、行政が行う必要があるのか、効率的に行われているか、を問い直すとともに、新しい行政ニーズに的確に対応しなければなりません。

(事務局)

どうもありがとうございました。

(2005年12月23日)



12月定例議会における主な議題

会期予定：平成17年11月28日～12月22日（25日間）

議案・報告の概要について

条 例：「川崎市路上喫煙の防止に関する条例」他、計16件。
事 件：「川崎市国際交流センターの指定管理者の指定」他、計35件。
和解訴訟：訴訟上の和解等、計3件。
補正予算：「平成17年度川崎市一般会計補正予算」他、計2件。
報 告：「地方自治法第180条の規定による市長の専決処分報告について」の1件。

主な議案の概要について

「川崎市路上喫煙の防止に関する条例の制定について」

混雑が予想される指定された駅周辺において、道路等での喫煙を防止する条例。違反者に対しては2万円以下の料金を課すもの。料金の額は2万円以内で別途規則で定めるが、概ね2千円程度になる見込み。平成18年4月1日から試行（料料適用は同年10月1日から）。

「川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

既存条例の対象に建造物に係る環境の負荷低減を加えるもの。CASBEE（建築物総合環境性能評価システム）に対応。床面積が5,000平方メートルを越える建物が対象。公布日から1年以内に施行。

「川崎市国民保護対策本部及び川崎市緊急処理事態対策本部条例の制定について」

「川崎市国民保護協議会条例の制定について」

『武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律』に基づく条例。川崎市における国民保護対策本部及び緊急処理事態対策本部の組織、会議の内容を定めるとともに、国民保護計画策定の前提となる協議会の組織、運営について定めるもの。公布の日より施行。

「川崎市市立学校の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定」

幸区の河原町小学校を廃止し御幸小学校に統合するもの。平成18年4月1日に施行。

「訴えの提起」

水道メーター談合事件に伴い、本市として損害賠償請求を行うもの。8社に対し、約8,200万円を請求。

「指定管理者の指定」

160の公の施設について、指定管理者を指定するもの。すべて公募を行い、本市の出資法人（出資率が25%以上）が指定を受けたものが74施設（46.3%）、社会福祉法人が62施設、共同事業体（JV）を含んだものが10施設、その他（株式会社やNPO法人）が14施設。

川崎市国際交流センター
川崎市立労働会館
川崎市生活文化会館（てくのかわさき）
川崎市男女共同参画センター（スクラム21）
川崎市子ども文化センター（58施設）
川崎市ふれあい館
川崎市産業振興会館
かわさき新産業創造センター
川崎市都市公園（2施設）
川崎市余熱利用市民施設（2施設）
川崎市リサイクルコミュニティセンター
川崎市授産施設
川崎市老人福祉センター（5施設）
川崎市心身障害者総合リハビリセンター（6施設）
川崎市老人いこいの家（46施設）
川崎市軽費老人ホーム
川崎市身体障害者福祉会館（4施設）

川崎市高齢社会福祉総合センター（3施設）
川崎市特別養護老人ホーム（7施設）
川崎市養護老人ホーム
かわさき総合ケアセンター（2施設）
川崎市聴覚障害者情報文化センター
川崎市港湾振興会館
川崎市体育館
川崎市少年自然の家
川崎市武道館
川崎市スポーツセンター（4施設）
川崎市青少年の家
川崎市黒川青少年野外活動センター
川崎市大山街道ふるさと館
川崎市とどろきアリーナ
川崎市こども夢パーク

（太字は高津区内に対象施設があるもの。）

2005年 川崎市10大ニュース

川崎市総合企画局が行った「2005年川崎市10大ニュース」の結果が発表されました。この1年間の川崎市政を振り返る上での参考にいただければと思います。

- 選定方法：川崎市に関連する出来事29項目を抽出し、市民の投票により得票総数の多い順に選定。
一人10項目以内で投票。
- 投票状況：市政モニターによる投票 98人
消費生活センターによる投票 59人
区役所、市民館、図書館等による投票 221人
ホームページでのインターネット投票 310人
計 688人
- 調査期間：2005年11月28日～12月7日

- | | |
|-------------------------------------------|------|
| 第1位：川崎フロンターレJ1で快進撃 | 332票 |
| 第2位：地下鉄計画変更、武蔵小杉接続へ | 301票 |
| 第3位：川崎港にジョーズ出現 | 268票 |
| 第4位：武蔵小杉新駅開業が決定 | 258票 |
| 第5位：市内でも強い地震 | 255票 |
| 第6位：川崎市長に阿部孝夫現市長が再選 | 235票 |
| 第7位：チネチッタ、観客動員数・興業収入ともに2年連続日本一 | 210票 |
| 第8位：JR川崎駅西口に大型複合商業施設を核とする
「ラゾーナ」建設 | 182票 |
| 第9位：行財政改革により職員約1,100名を削減 | 178票 |
| 第10位：メガスターIIの開発者 大平貴之さんモデルの
ドラマがテレビで放映 | 171票 |

- | | |
|------------------------------------|------|
| 11：国勢調査票の詐取相次ぐ | 164票 |
| 12：夢見ヶ崎動物公園に赤ちゃん続々誕生 | 146票 |
| 13：三菱ふそう川崎 都市対抗野球で3回目の優勝 | 140票 |
| 14：ミュージアム川崎シンフォニーホールで「夏の音楽祭」を開催 | 133票 |
| 15：宮前区長や病院事業管理者に初めて民間人を起用 | 117票 |
| 16：川崎市アスベスト対策会議を設置 | 113票 |
| 17：児童数の減少に伴い、小学校統廃合の方針決定 | 105票 |
| 18：地球温暖化防止へ10万本植樹 | 102票 |
| 19：総合コンタクトセンター「サンキューコールかわさき」がスタート | 101票 |
| 20：トランポリン中田選手がワールドカップで優勝し、世界ランク1位に | 100票 |
| 21：西ナイル熱 川崎市で国内初の患者 | 99票 |
| 22：臨海部に活性化の兆し | 97票 |
| 23：川崎再生に向け新たなスタート | 84票 |
| 23：アメリカンフットボールW杯 2007年夏、川崎で開催 | 84票 |
| 25：ストリートミュージシャン活躍 | 80票 |
| 26：岡本敏子さん急逝 | 73票 |
| 27：各区で試行の区民会議開催 | 69票 |
| 28：新潟県中越地震の被害を受けた十日町市に復興支援 | 64票 |
| 29：NEC女子バレー部をホームタウン推進パートナーに認定 | 58票 |

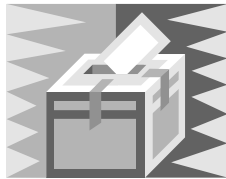
第23回 「川崎市政に参加する会」のご案内

私たちの住む川崎市を「安心して暮らせるまち」にしていくためには、私たちの手でもっともっと変えていかなければならないと思います。

一人一人の主権者の皆様とともに、新しい川崎市のあり方について、勉強し、議論し、実行していく場として、「川崎市政に参加する会」を開いています。

毎月、その時々にあったテーマを設定し、開催しておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第23回 1月25日 午後7時～ 高津市民館
「川崎市の都市政策」
—まちづくりと建築規制



日時：2006年1月25日（水）
午後7時から8時半まで。

場所：高津市民館 第1会議室

溝の口駅前マルイファミリー

溝口1-6-10 044-812-1090



このニュースはご自宅にも無料で配送しております。毎月確実にご覧になりたい方は、ほりぞえ健事務所までご連絡ください。（電話：855-1479）

連載コラム 川崎と高津の地名（No.11）参考：上田恒三著「高津村風土記稿」日本地名研究所編「川崎の町名」

「末長」の由来

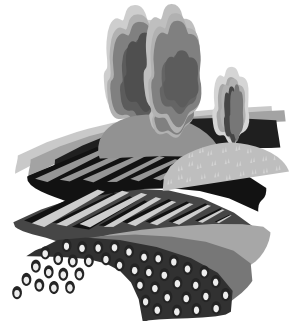
末長の地名は、『小田原衆所領役帳』の中に「稲毛末長」と記載されていますので、稲毛庄と深い関係のある地域であったと言われています。

地名の由来は、やはりはっきりしていませんが、言い伝えとしては、平安時代後期の武将で陸奥の国守であった八幡太郎義家（源義家）が後三年の役の帰途、寛治5年（1091年）1月15日に、この地の丘の上に奇異な石を見つけ、この石に武運を祈り、弓矢を納めて、民の「末永く」栄えんことを願った、という伝承が残っています。

この地の半分を占める低地は、水田の地割から条里制も施行されたと考えられており、かなり古い時代に開発されたと思われます。

北西部には東急田園都市線の梶ヶ谷駅がありますが、ここには駅ができる前に、「池の谷（やと）の溜池」がありました。

明治22年、市制・町村制施行に伴う7村合併により、末長は橋村の大字となりました。



政治資金ご寄付のお願い

地元から日本改革を実現するために、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

「ほりぞえ健後援会」宛

郵便振替：高津郵便局 口座00270-1-24169
銀行振替：川崎信用金庫 高津支店 普通0796294

インターネットの掲示板で読んだ「昨今の電話のかけ方に不満だ」という意見に、自分から割り込み邪魔をしているのだから、自分から名乗る前に、○○さんのお宅ですか？と確認するのは何事か。安全面から相手はわかるまで名乗りたくない○○です」と出る電話は少なくない。個人的な電話をかけることが習慣になってきたが、相手を安心させるには先に名乗ったほうがいいのだという。ことに初めて気づいた。／その一方で、「○○さんのお宅ですか？」と尋ねられたら、「どなたですか？」と聞き返し、相手も首を傾げた。確かに「振り込め詐欺」などが横行する昨今、電話をかけてきた相手に不用意に名乗りたくないという気持ちはわかる。しかし、「尋ねるほうから絶対名乗るべき」ということに頑なに拘るのは、安全面でもさほど大きなメリットがあるわけでもなく、逆に礼を失するようにも思える。／今は、子どもにも、知らない人に親切にするよりは、むしろあまり関わらないように、と教えざるをえないという声も聞く。全般に凶悪な犯罪が増えているように思える。通学路上で児童が襲われるという痛ましい事件が連続して起きるような現在、知らない人に警戒して起きるような現在、なのかもしれない。／アメリカでは「ゲイティッド・コミュニティ」と呼ばれる住宅地があるそう。文字通りガードマンに厳重に守られたその街に、住人以外の人間が入るには、特別な許可が必要だといふ。「銃社会」ということで極端な例なのかもしれないが、「安全」のためには、他者を拒絶するのでもやむなしという感覚の広がりには、日本でも進んでいるのではないだろうか。だが、本当は知らない人とも和やかにコミュニケーションできる社会のほうがいい。居心地はいいに違いない。／「安全」と「温かさ」は、そもそも矛盾する概念ではない。両者が両立する社会にするにはどうしたらいいかというのを、よく考える必要がある。（事務局ゆ）